

I 令和6年度 学校経営の基本方針

あらゆる場面に制限をもたらしたコロナ禍はかげりを見せ、社会は平静を取り戻しつつある。今こそ学校は、子ども達の成長を保障する教育活動を、迷うことなく全力で行っていかなくてはならない。世の中は超スマート社会(Society5.0)が急速に広がる一方でますます先の見通しにくい状況であり、私たちには、今後の世界を生き抜くために必要な力を見極めながら、その一つ一つを確実に身につけさせることが課せられている。

◇指標1 人生100年時代の社会人基礎力

現代社会が求める3つの能力・12の能力要素を学校の重点教育目標に据えて教育課程を編成・実施する

◇指標2 令和の日本型学校教育

子どもの側に立ち、子どもを主語にする教育活動により「誰一人取り残さない個別最適な学びと協働的な学び」の実現を目指す

◇指標3 日本型ウェル・ビーイング

獲得系幸福とともに協調系幸福を重視し、地域とともに在る人間形成を目指す

栗沢小中学校では、5年間の「導入期」を経て、昨年度より小中一貫教育が本格的にスタートした。「よい学校」をつくることで「よい地域」が形成されるとの理念のもと、岩見沢市が目指す「人づくりとまちづくり」の一体的な構築に向け、学校・家庭・地域で方向性と方策を共有し取組を充実させていくことが必要である

◇方策1 安全で健康な生活の確保

物理的・精神的安全性を最優先に、小中の共通理解と共通行動により命と体と心を守る教育を実施する

発達支持的生徒指導を根幹に、事故や問題行動の未然防止を図る

◇方策2 学力の向上

「変革をもたらすコンピテンシー」(OECD Learning Compass2030)の獲得を目指し、小中協働研修を土台に授業改革へのフィードバックを絶えず実施し、未来を生き抜く真の学力を育む

◇方策3 地域とともに育つ学校・子ども

地域に見守られている安心感をもたせ、地域に足場を置いて思考し探究し行動する活動を通して、地域とともにより良い生活を創る意識を育てる

栗沢CA(学校運営協議会)マロンドリーム(地域学校協働本部)との連携を維持発展させ、子ども達の成長につなげる

「未来の教室5原則」を基軸としたこれまでの取組により様々な場面で子ども達の発信力・対話力が向上し、総合的な学習の時間等の中でテーマに向かって探究する力の育っていることが確信できる。その反面、地道な努力を積み重ねて目標に向かうことや、困難に立ち向かうレジリエンスの低いこと、多様なケースへの対応の難しさが懸念される。こうした成果と課題を念頭に教育活動をいっそう充実させ、子ども達の成長の姿を追求していく。

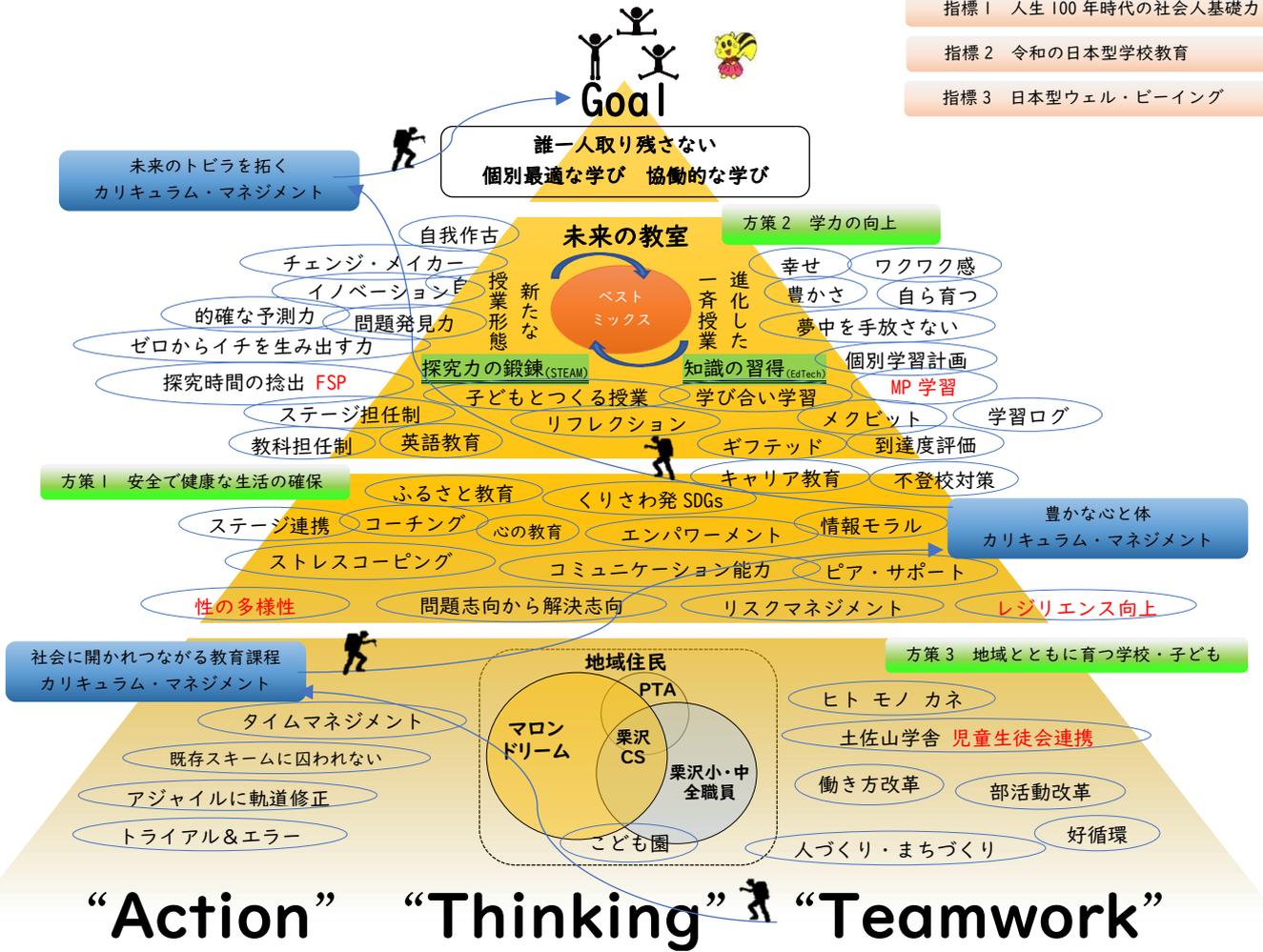
【経営参画意識と働き方改革】

子ども達が生き生きと活動し成長するためには、使命感と情熱に溢れた教師が一丸となって教育活動を推進することが重要である。保護者・地域に絶対的に信頼され持続可能な次代の栗沢小・中学校の創造のため、失敗を恐れない果敢な取り組みを進めたい。

そうした教育活動を効率的・効果的に推進するためにも、「働き方改革」は重要な要素である。諸制度や教育機器の有効活用、カリキュラムの精選、チームでの計画実施、部活動の在り方等、多角的に課題をとらえ、全員で知恵を出し合って解決に向かっていきたい。

小中一貫カリキュラム・マネジメント

- 指標1 人生100年時代の社会人基礎力
- 指標2 令和の日本型学校教育
- 指標3 日本型ウェル・ビーイング



《中・長期的な基本理念》 令和元年度制定

- ・すべての子どもが「栗沢で学んでよかった」
- ・すべての保護者が「栗沢で育ててよかった」
- ・すべての住民が「栗沢で生きてよかった」

《めざす子ども像》 令和5年度改定

- ・ふるさと栗沢を大切にする心を基盤に、自らのキャリア選択に応じた考えを膨らませ、グローバルな視点で仲間と共に新たなことに挑戦していく子どもたち

《めざす学校像》 令和5年度改定

- ・学習機能、社会的機能、福祉的機能をバランスよく併せ持ち、多様な人々とつながる学校
- ・すべての子どもたちの資質・能力を育成するための、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの往還を実現させる学校
- ・未来社会を支える有為な人材を輩出していく学校(社会人基礎力の育成)

《めざす教職員像》 令和5年度改定

- ・「めざす子ども像」の実現に向け、探究力鍛錬を図る授業改革や STEAM 教育の推進に向けた新しい知識・技能を学び続け、子どもたち一人一人の学びを最大限に引き出しながら、主体的に学校経営に参画する教職員
- ・「未来の学校の創造」というミッションに向け、個々の強みでつながり補完し合う教職員



【重点教育目標】

上記の基本理念やめざす姿を達成させるための具体的な指標として次のことを重点教育目標とする。

Action

前に踏み出す力



主体性

実行力

働きかけ

Thinking

考え抜く力



課題発見力

計画力

創造力

Teamwork

チームで働く力



発信力

傾聴力

柔軟性

規律性

状況把握力

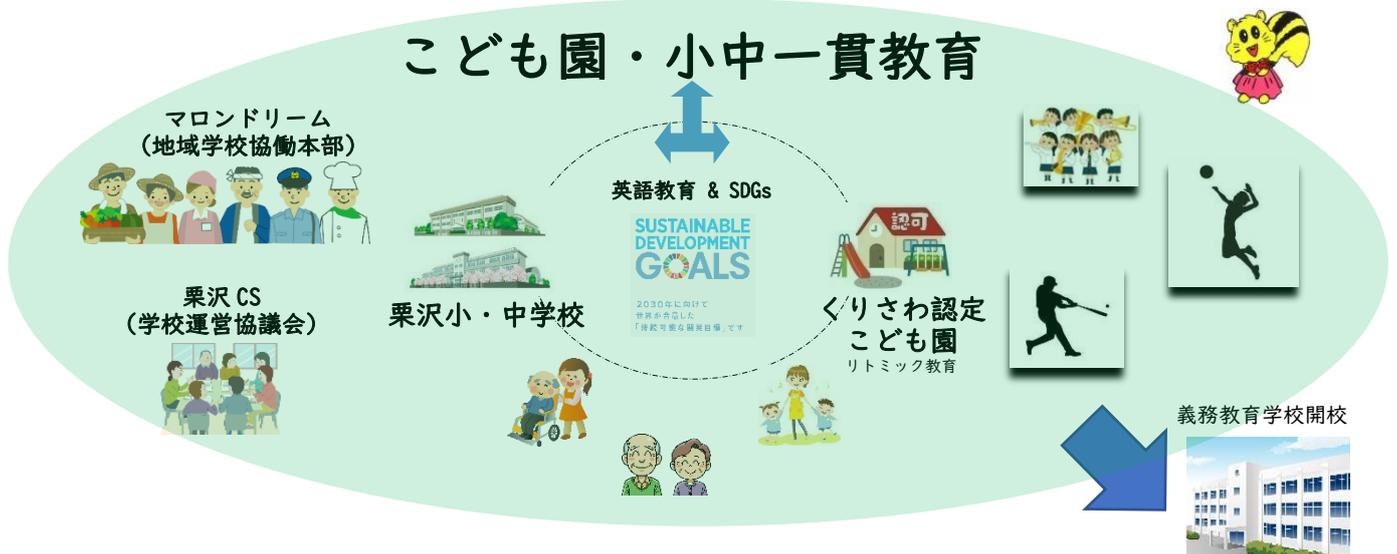
	Action 前に踏み出す力			Thinking 考え抜く力			Teamwork チームで働く力				
	主体性	実行力	働きかけ	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	規律性	状況把握力
	物事に進んで取り組む力	目標を設定し、確実に行動する力	仲間と協働しながら解決していく力	状況を分析し、目標や課題を明らかにする力	問題解決に向けたプロセスを明らかにして準備する力	新しい価値を生み出そうとする力	自分の意見をわかりやすく丁寧に伝える力	相手の意見を丁寧に心で聴く力	意見の違いや立場の違いを理解する力	学校のルールや様々な約束事を守ろうとする力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
1st ステージ (1年~4年)	◎			◎			◎			◎	◎
2nd ステージ (5年~7年)		◎			◎			◎		◎	◎
3rd ステージ (8年~9年)			◎			◎			◎	◎	◎

各ステージでの重点（◎の箇所）を達成させる「めざすステージ目標」は、

1st ステージ 1年~4年	2nd ステージ 5年~7年	3rd ステージ 8年~9年
<p>明るく元気で 笑顔が絶えない子どもたち</p> <p>* 学びの基礎・基本の確実な習得 * 学習規律の徹底 * 明日につながる学習生活習慣の確立</p> <p>学習生活習慣確立期 ステージ担任制</p>	<p>強い意志で 正しく行動する子どもたち</p> <p>* 習得した知識・技能を活かした主体的能力の育成 * 課題解決・課題発見に適する学習スキルの習得 * 有益な生き方を選択する社会性・人間性の育成</p> <p>主体的能力育成期 ステージ担任制→教科担任制</p>	<p>新たなことに挑戦し チームで働く子どもたち</p> <p>* 夢や希望の実現に向け、探究力を鍛錬する能力の育成 * 他者と協働しながら新たなものを創造する力の育成 * 世界の一員として、人とのつながりを大切にする心の育成</p> <p>探究力鍛錬期 教科担任制</p>

*ステージ担任制…学級担任制を基本とするが、ステージ内の先生方との交流を通して多種多様な能力を培っていく機会を創出する。
取組内容は、ステージ内で協議して決める。(例…時期を限定した担任入替、ホームルームのみ担任入替、ステージ内教科担任制など)

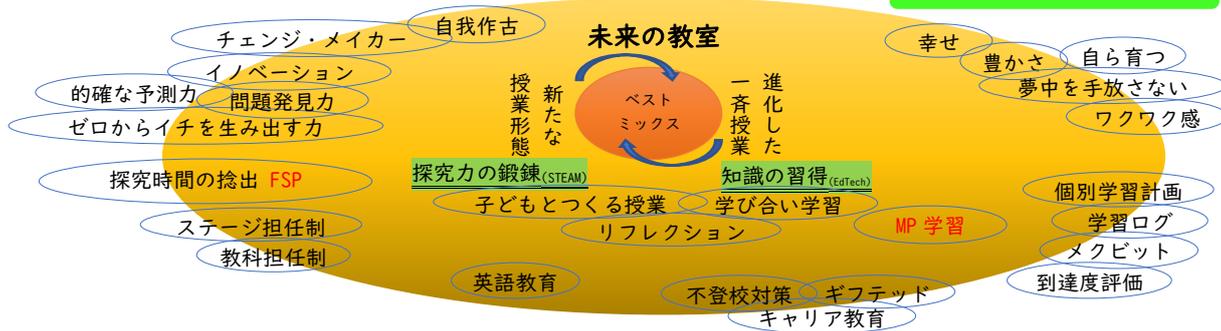
こども園・小中一貫教育



II 未来のトビラを拓く カリキュラム・マネジメント

→確かな学力部

方策2 学力の向上



《客観的数値から見取れる子どもの実態》 R5年度 標準学力検査、全国学力・学習状況調査から

NRT 検査から 数値は偏差値 赤は前年度より低下 青は前年度より上昇

R6 現在 ↓	国語			算数・数学			社会			理科			英語		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
2年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3年	-	-	48.7	-	-	46.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4年	-	52.5	50.4	-	53.8	46.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5年	43.7	47.6	49.9	46.3	47.6	51.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6年	47.2	46.1	45.7	44.9	45.6	43.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7年	48.3	51.0	49.7	43.9	50.3	50.2	-	-	48.7	-	-	48.3	-	-	49.4
8年	45.9	46.4	46.7	44.7	45.9	42.1	-	46.7	46.8	-	45.7	46.2	-	44.6	43.1
9年	53.0	52.5	52.1	49.8	49.2	48.5	48.5	52.2	50.3	51.2	50.7	49.4	-	48.9	49.2

全国学力調査 全国平均を100とした数値

	国語			算数・数学			理科	英語
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R4	R5
6年	75.7	102.1	99.7	91.2	94.9	104	99.5	-
9年	102.2	104.3	97.4	82.2	112.8	100	119.7	100.9

【重点目標】 NRT…全教科偏差値+3以上 全国学力…全教科全国平均以上

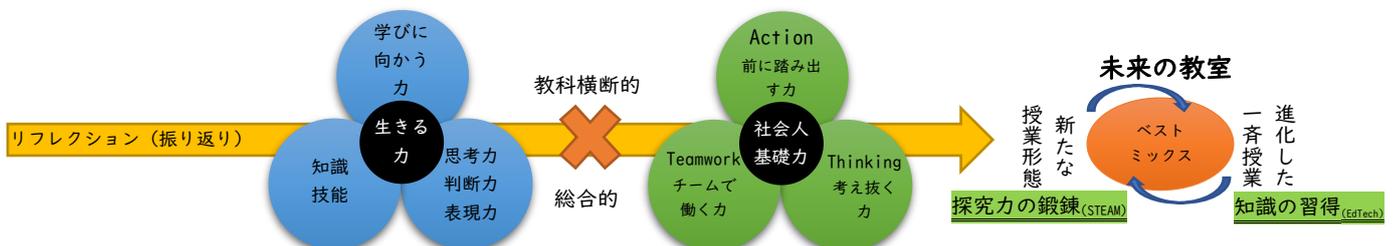
知識・技能の習得 思考力・判断力・表現力 探究力 鍛錬

*一人一人の子どもに「できる→わかる→使える→役に立つ」を体感させ「主体的・対話的で深い学び」の授業改革

*小中協働研修を土台にした「子どもと創る授業」構築による『栗沢スタイル』の実現

～誰一人取り残さない、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

- 1st ステージ…9 年間の学習の基盤となる基礎・基本の定着を徹底し、子どもたちの学習意欲を喚起させる課題の提示等の工夫、教科横断的に学習内容を深化させていくステージ
- 2nd ステージ…各教科で習得した「見方・考え方」を基盤としながら、課題解決や課題発見に適した様々な学習スキルやコミュニケーション能力（システム&デザイン思考力）などを身に付け、主体的・対話的な学習活動を通して探究力を鍛錬していくステージ
- 3rd ステージ…7 年間で培った人間性・社会性を基盤に、次なるステージでどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかのロードマップを描き、共に学んだ仲間と共に力強く一歩を踏み出すステージ



1 知識及び技能

- (1) 子どもたちの個性や特徴、そして興味関心や学習の到達度は一人一人異なっていることを前提に、一律・一斉・一方向授業から脱却し、ICT (EdTech)^{＊1}などを活用し、学修の個別最適化を図る。
- ①個別学習計画に沿った学習ログを記録し、到達度評価への移行を図る。
 - ②学習不振による不登校の子どもや「落ちこぼれ」(低学力層)・「浮きこぼれ」(ギフテッド)^{＊2}に合わせた個別最適な学習に取り組む学習方法(AIドリル)や機会(朝学習、放課後、長期休業学習等)を創る。
 - ③タブレット等を持ち帰らせ、次時の授業で扱う学習(反転学習)や、反復練習が必要となる知識・技能の習得に取り組ませる。
(家庭学習習慣の定着)
- (2) 各種テストの積極的な活用
- ①漢字検定、英語検定、算数・数学検定等の活用
- ＊1 EdTech…Education(教育)と Technology(技術)を組み合わせた造語で、テクノロジーを用いて教育を支援する仕組みやサービス
- ＊2 ギフテッド…先天的に平均よりも顕著に高い能力を持っている人、またはその能力を示す。

2 思考力・判断力・表現力

- (1) 教科学習や総合的な学習の時間、特別活動を含めたカリキュラム・マネジメントを通じ、一人一人のワクワクする感覚を呼び覚まし、教科知識や専門知識を習得する(=「知る」)ことと、探究・プロジェクト型学習の中で多種多様な知識をつなぎ合わせ、創造的・論理的に思考し、未知の課題やその解決策を見出す(=「創る」)ことが循環する、学びの「STEAM」^{＊3}化を実現させる。
- ①知識をインプットさせる一律・一斉・一方向型の授業形式を見直し、探究力の鍛錬に費やす新たな学びの時間を創出するため、9か年の各教科等の全体指導計画を見直す。
 - ②総合的な学習の時間などで取り組むふるさと学習(ローカル)、SDGs(グローバル)などの社会的課題と各教科学習の関連を強化し、実社会で活かされる課題解決を通して探究力の鍛錬を図り、学ぶことのワクワク感が持続するカリキュラム・マネジメントの構築。
- ＊3 STEAM…Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Art(芸術・リベラルアーツ)、Mathematics(数学)の5つの単語の頭文字を組み合わせた概念。技術革新が進み人工知能の影響で世の中が大きく変化する中、これら5つの分野の学習を通して、子どもを今後のIT社会に順応した競争力のある人材に育てていくための教育方針。理数系高校でよく聞かれるSSH(スーパーサイエンススクール)と同じ。

3 学びに向かう力

- (1) 各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら課題解決や課題発見に適した学習スキルを習得するとともに、コミュニケーション能力の手法を活かした協働的な態度を身に付けさせ、主体的・対話的な学習活動を通して知識の習得と探究力の鍛錬の好循環を生み出していく。
- ①子ども一人一人の居場所があり人間性溢れる学級づくりを基盤とし、ステージづくり→学校づくりにつなげる。(ピア・サポート)
 - ②生徒指導の機能を活かし、発達段階に応じた仲間との協働に不可欠な情動・ストレス対処の力(ストレスコーピング)、効果的なコミュニケーション能力を身に付けさせるとともに、課題や事象の構造をつかむシステム思考と、対象の丁寧な観察をもとに様々な分野の知識を編み込み解決策を生み出すデザイン思考を融合させた思考力を開発していく。(システムデザイン・マネジメント)

『未来の教室5原則』1st ステージ

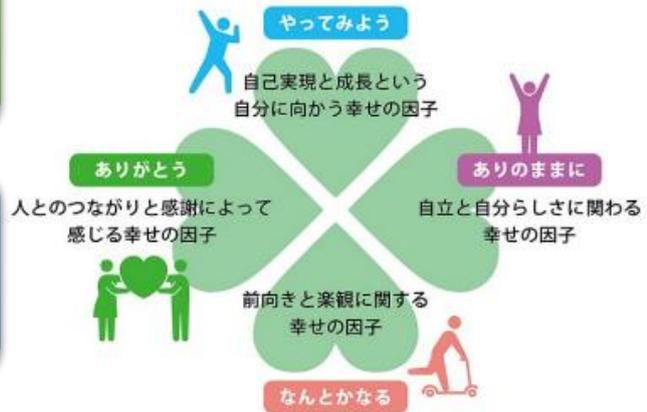
- ☆ 大きなこえで、はなしましよ。
- ☆ 目と耳と心で、ききまじよ。
- ☆ いつもえがおで、なかよくしよ。
- ☆ こまった人をたすけよ。
- ☆ じかんを、まもろう。

『未来の教室5原則』2nd & 3rd ステージ

- ☆ 自分の考えを丁寧に伝える。
- ☆ 仲間との対話から学ぶ。
- ☆ 感謝される「喜び体験」を繰り返す。well-being
- ☆ 自分よりも仲間、仲間よりも社会。well-being
- ☆ タイムマネジメント

Well-being

地域とともに在る人間形成
日本型ウェル・ビーイング



(2) 子どもが主体的に学びを進める学習スタイル … R6 年度継続 ⇒ 検証・改善を図る

① **学び合い学習**…「個別最適な学習」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学習」に還元させる学習スタイルに取り組ませ、学習意欲の向上を図る。(全ステージ)

・子どもたちが自立的に学びを進める学習機会を設定し、協働的な学び合いができる有用感・満足感を味わわせる。(5教科各5時間程度)

・各ステージ内で、子ども同士の授業研究を通して、授業スキル(コミュニケーションスキル)を習得する。

(年3回程度)

② **単元マイプラン学習**…一単元分の学習内容を、自分にとって最適だと考える学習計画のもと、「個別最適な学習」スタイルで取り組ませ、自らの計画力・判断力・責任力を醸成する。(全ステージ)

・学習カードに沿って自らのタイミングで進めていく学習。

・時数や教科の組み合わせ等は 1st ステージは学級担任が、2nd&3rd ステージは教科担任及び学級担任が策定する。

③ **フリースタイルプロジェクト**…上記①②のどのように学ぶかという学習方法の一步先として、何を学ぶか、つまり学習内容までも委ね、教科横断的且つ総合的な学習として「学習の個性化」をねらいとする学習方法。

(2nd & 3rd ステージ)

・総合的な学習の時間として取り組み、年間10時間程度に取り組ませる。

4 教科等の枠を超えた全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力

(1) ICT 機器の有効活用

- ① 主体的に情報などを収集する場面
- ② 多面的・多角的に情報を吟味していく場面(クリティカル・シンキング)
- ③ 統計的な分析に基づき課題解決・課題発見をしていく場面
- ④ 家庭におけるタブレット端末の有効活用

(2) コミュニケーション能力の開発

- ① 「未来の教室5原則」を意識させた教育活動
- ② ピア・サポート授業(2nd & 3rd)
- ③ 情動・ストレス対処力を養う取組
- ④ システムデザイン・マネジメントの取組

(3) キャリア教育の充実

- ① キャリア・パスポートの見直し
- ② 人と共に社会を生きる力(人間関係形成、社会形成能力)
- ③ 自分を知り、律する力(自己理解、自己管理能力)
- ④ 課題を見つけ、解決する力(課題対応能力)
- ⑤ 夢や希望を創り上げる力(キャリアプランニング能力)

III 豊かな心と体

カリキュラム・マネジメント

→豊かな心と体部

方策Ⅰ 安全で健康な生活の確保



～豊かな心の育成～

《客観的数値から見取れる子どもの実態》 R5年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙から

1:そう思う 2:どちらかと言えばそう思う 3:どちらかと言えばそう思わない 4:思わない

自分にはよいところがあると思いますか。		1	2	3	4	コメント
6年生	自校	40.0	46.7	13.3	0	自尊感情については、全国平均とほぼ同じです。「未来の教室5原則」のうちの、『感謝される「喜び体験」を繰り返す』を大切にしていきます。
	全国平均	42.6	40.9	11.4	5.1	
9年生	自校	68.2	27.3	4.5	0	
	全国平均	37.2	42.8	14.3	5.6	

将来の夢や目標を持っていますか。		1	2	3	4	コメント
6年生	自校	73.3	26.7	0	0	全国平均とほぼ同じです。9か年のキャリア教育の充実を図り、15歳の春には大きく世界に羽ばたく人材に育て上げます。
	全国平均	60.8	20.7	10.4	8.2	
9年生	自校	54.5	31.8	9.1	4.5	
	全国平均	39.4	26.9	19.8	13.2	

人が困っているときは、進んで助けていますか。		1	2	3	4	コメント
6年生	自校	40.0	60.0	0	0	重点教育目標のうちの「Teamwork」を大切にしたい行動が取られています。協働的な学びの機会を増やし、共に切磋琢磨していける環境を創り上げていきます。
	全国平均	45.6	46.0	7.2	1.2	
9年生	自校	63.6	31.8	4.5	0	
	全国平均	38.4	49.7	9.7	1.5	

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。		1	2	3	4	コメント
6年生	自校	93.3	6.7	0	0	2 nd & 3 rd で実施している「いじめ撲滅集会」の目的を明確にさせながら、いじめを「しない・させない・許さない」取組を充実させていきます。
	全国平均	82.6	14.3	2.3	0.8	
9年生	自校	86.4	9.1	4.5	0	
	全国平均	80.3	15.2	2.8	1.1	

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。		1	2	3	4	コメント
6年生	自校	60.0	40.0	0	0	感謝される「喜び体験」の機会を増やしていきます。
	全国平均	75.3	20.6	2.9	1.2	
9年生	自校	81.8	18.2	0	0	
	全国平均	71.7	22.9	3.3	1.3	

【重点目標】

*強い意志で正しく行動する心もち、新しいことに果敢に挑戦し、思いやりと協働の精神を大切にする子どもの育成

- 1st ステージ… 基本的な生活習慣(挨拶、返事、清掃、時間など)、社会集団の一員としての社会性や人間性を身に付けることに重点を置き、いじめ等を許さず誰もが楽しく安心して学べる風土を確立する。
- 2nd ステージ… よりよい人間関係を育む「未来の教室5原則」を活かし、新たな学校文化を醸成する自治的能力を身に付け、一人一人の自己存在感、有用感、成就感で心がつながる風土を確立する。
- 3rd ステージ… ふるさと栗沢で育んできたことを基盤に、グローバルな視点で未知なるステージで飛躍する姿を膨らませ、仲間や地域と共に「日本型 **Well-being**」を一つずつ現実のものとしていく。

1 生徒理解に努め、ふれあいを大切にしたい心の通う生徒指導の充実

- (1) 自己存在感(有用感、成就感)を実感できる生徒指導の推進
- (2) Q-U 検査の効果的な活用とその他の客観的な資料の活用の充実
- (3) 正しい判断力と実践力を基盤とする規範意識の育成
- (4) よりよい人間関係を育むピア・サポートの考え方を活かし、発達支持的生徒指導を基盤としたいじめや不登校、問題行動等の未然防止
- (5) いじめ、問題行動、中1ギャップ等の早期発見と小中全教職員による一致した適切な指導
～小中合同生徒指導交流会の定期実施～
- (6) 不登校の子どもたちに対する具体的な対応(問題志向から解決志向へ)
- (7) 情報化社会への適切な対応(情報モラル教室の活用)

2 自主的・実践的な態度を育てる特別活動の充実

- (1) 学級活動、ステージ活動及び児童生徒会活動の充実を図るとともに、協働の意義やよりよい人間関係づくりの構築による、自治的能力の向上(児童会・生徒会の連携)
- (2) 学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深める学校行事の推進(2nd ステージを重点に)

3 考え、議論する道徳指導の充実

- (1) 小中道徳教育推進教師を中心とした9か年の道徳教育カリキュラム・マネジメント
- (2) 体験的な学習の推進、指導方法の工夫改善(TT、ゲストティーチャー、ステージ授業など)
- (3) 小中教員同士の授業参観、交流(水曜1～4校時)による道徳指導の充実

4 総合的な学習の時間の充実(グローバル教育)

- (1) 栗沢を愛し、自然や環境を大切にしたい心情や態度の育成
- (2) 栗沢の歴史、文化、産業などを学び、夢や希望の実現に向けて意欲的に行動する態度の育成
- (3) 持続可能な世界を創るための、『くりさわ発 SDGs』
- (4) 児童生徒自身の興味関心を出発点に、探究する喜びを味わう活動『フリースタイルプロジェクト』

SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



2015年9月の国連サミットで採択。「誰一人取り残さない」(No one will be left behind.)持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため。2030年を年限とした目標。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)な考えから取り組まれている内容。



～健やかな体の育成～

《客観的数値から見取れる子どもの実態》 R5年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙から

1:そう思う 2:どちらかといえばそう思う 3:どちらかといえばそう思わない 4:思わない

朝食を食べていますか。		1	2	3	4	コメント
6年生	自校	100	0	0	0	これまで食べてこない数値が高い傾向があったが、学校たより、保護者会などを通して、基本的な生活習慣について啓蒙した結果、改善傾向が見られる。
	全国平均	83.7	10.2	4.6	1.5	
9年生	自校	81.8	9.1	4.5	4.5	
	全国平均	78.6	12.6	5.9	2.9	

毎日、同じくらいの時間に寝ていますか。		1	2	3	4	コメント
6年生	自校	26.7	66.7	6.7	0	家庭学習時間は少なく、ゲーム等に費やす時間が長い結果と連動しており、睡眠時間が確保されていない。
	全国平均	38.1	42.9	15.7	3.1	
9年生	自校	54.5	13.6	18.2	13.6	
	全国平均	34.7	43.3	17.7	4.2	

毎日、同じくらいの時間に起きていますか。		1	2	3	4	コメント
6年生	自校	26.7	66.7	6.7	0	睡眠時間が確保されていないことより、朝起きられない子どもが多いことが予測されます。上記3点にわたって、家庭生活習慣の大切さを保護者へ啓蒙していきます。
	全国平均	55.1	35.4	7.9	1.5	
9年生	自校	68.2	31.8	0	0	
	全国平均	54.8	36.5	7.0	1.4	

【重点目標】

*心身ともに逞しい子どもを育成するとともに、生命を尊び、健康で安全な学校生活を送ることができる教育環境づくりの推進

1st ステージ…規則正しい生活習慣の確立を基盤として、すべての子どもたちが明るく元気に過ごし、毎日が楽しいと思えるステージ。基礎体力やバランス感覚を養うことができる基礎スポーツの推奨。

2nd ステージ…誰とでも仲良く楽しい学校生活を送ることができるように工夫を凝らした生活を送るステージ。
自ら選択し、心身を逞くさせる部活動に積極的に取り組ませる。

3rd ステージ…温かみに溢れ、有意義な学校生活をすべての子どもたちが送ることができるよう、リーダーシップを発揮するステージ。部活動の取組の集大成として心身ともに充実させる。

1 生命を尊び、自らを律する健康・安全教育の推進

(1) 強健な心身を培うスポーツへの参加奨励と指導体制の充実

- ①部活動の充実及び多様な競技への積極的参加(外部指導者の積極的な活用)
- ②自主・自律を育むとともに、指導者と児童生徒の心が通い合う心技体のバランスが図られた指導の充実
- ③部活動の地域移行を視野に入れた学校⇄地域や関係団体との連携・協力

(2) 健康な生活に資する学校保健・安全指導の充実と安全な行動の習慣化

- ①保健だより、学校だより等を活用しての意識化
- ②リスクマネジメントの不断の見直しと避難訓練(火災・地震・防犯等)の工夫

学校・栗沢CS・マロンドリーム・地域住民合同一日防災学校の実施

(3) 危機管理マニュアルの共通理解と全職員による組織的対応

- ①危機発生時(クライシスマネジメント)の迅速な行動の徹底

(4) 地域・PTA等との協力による地域安全指導の充実

(5) 食の指導(食育)、性の指導(ジェンダーレス)、薬物乱用防止、情報モラル等に関する研修の充実

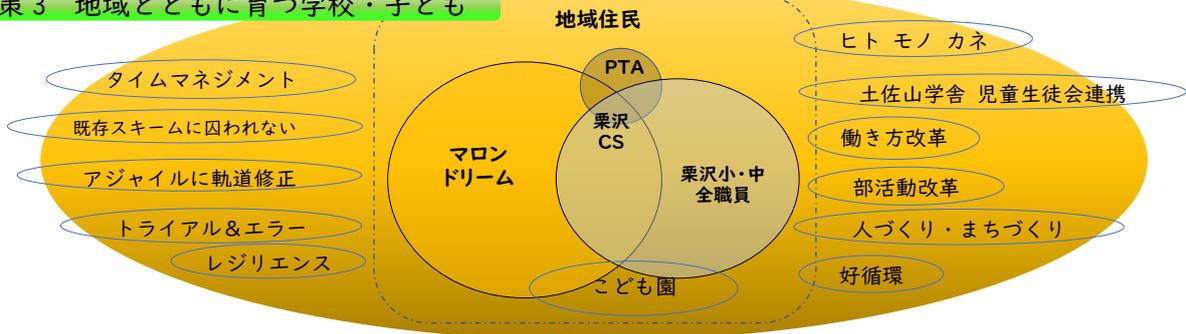
2 豊かで温かみのある教育環境づくりの推進

(1) 各種ボランティア活動への積極的参加

(2) 学校内外の環境整備活動(クリーン作戦)

IV 社会に開かれつながる教育課程 カリキュラム・マネジメント

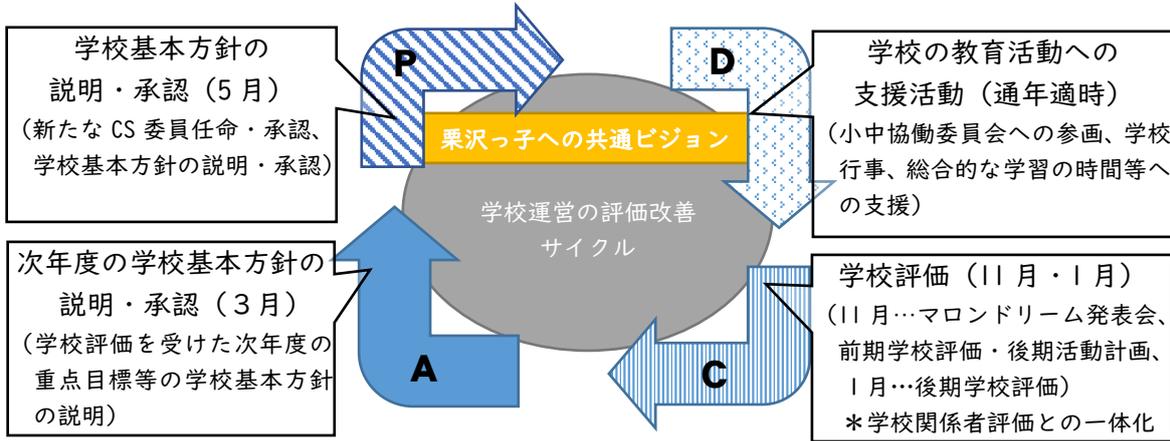
方策3 地域とともに育つ学校・子ども



【重点目標】

- * 栗沢CS(学校運営協議会)マロンドリーム(地域学校協働本部)を基軸とした、こども園小中一貫教育の推進
- * 地域とのつながりを実感させ、リアルな体験を通してより良い生活を創る意欲をもつ子どもの育成

I 栗沢CS(学校運営協議会)・マロンドリーム(地域学校協働本部)



(1) 栗沢CS(学校運営協議会)組織 *敬称略

- ①委員長 武田 豊(マロンドリーム)
- ②副委員長 干場 法美(マロンドリーム)
- ③委員
 - こども園…本川 朋一(こども園長)
 - 保護者…松永 有平(PTA会長) 川岸 雅弘(PTA副会長)
 - 校区住民…高畠 信雄(くりさわプロモーションクラブ理事長)
 - 中村 良臣(栗沢ロータリークラブ)
 - 近藤 一史(栗沢商工会) 西脇 圭一(栗沢支所長)
 - 工藤 康洋(トッキュウ) 阿部 真也(阿部自動車)
 - 高柳 京祐(栗沢農協青年部) 辰田 真弥(住職)
- マロンドリーム… 武田 豊 干場 法美 橋谷 功志 坂野 靖子

(2) マロンドリーム(地域学校協働本部)組織

- ①会長 橋谷 功志
- ②事務局長 平田 さゆり
- ③会計 菊池 亜希

V 働き方改革（業務の適正化を目指して）

1 子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり

- (1) 授業日数の210日程度の確保（授業の平準化）
- (2) 個別最適な学びの充実（個別学習計画、学習ログ、到達度評価、Edtech）
- (3) 協働的な学びの充実（STEAM教育、学び合い学習）
- (4) 小中が一貫した特別支援教育の確立
- (5) 栗沢CA、マロンドリームとの連携

2 教職員が授業に専念できる環境づくり

- (1) 勤務時間の適正化（定時退勤日の設定強化）
 - ① 水曜日部活動休止日・土日のいずれか部活動休止日
 - ② 部活動地域移行に向けた取組・・・市や他地域、関係団体等の動向を注視
 - ③ オーバー・カリキュラムへの対策
 - ④ カリマネ委員会の充実及び各種会議（職員会議、分掌学年部会等）の精選
 - ⑤ 年休、振替制度等の積極的活用

3 保護者、地域のニーズに応じた環境づくり

- (1) 栗沢CS、マロンドリームと連携した学校教育の推進
- (2) 学校ホームページ、情報共有連絡方法の充実

VI 経営目標達成のための学校評価

I 学校評価年間計画

(1) ねらい

小中一貫教育の充実に向けて、自己評価・外部評価を通して、義務教育9か年の教育活動を振り返り、より一層の工夫と改善を図る。

	評価計画	栗沢CS（学校運営協議会）	公表の方法
4	<u>4月 日（ ）</u> 第1回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会） ＊学校評価推進の計画	<u>4月 日（ ）</u> 第1回栗沢CS会議 ・学校経営方針の承認 ・学校評価項目の検討など	学校だより（経営方針の発信）
5			
6	<u>6月 日（ ）</u> 第2回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会）		
7			
8			
9	<u>9月 日（ ）</u> 第3回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会） ＊評価実施、結果分析		学校だより （前期評価結果及び改善策の公表）
10			
11	<u>11月 日（ ）</u> 第4回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会） ＊経営方針を受けて	<u>11月 日（ ）</u> 第2回栗沢CS会議 ・前期評価結果及び改善策検討	
12			
1		<u>1月 日（ ）</u> 第3回栗沢CS会議 ・学校関係者評価など	学校だより （評価結果及び改善策の公表）
2	<u>2月 日（ ）</u> 第5回学校評価推進委員会（小中カリマネ委員会）		
3		<u>3月 日（ ）</u> 第4回栗沢CS会議 ・学校関係者評価 ・今年度の反省及び次年度計画	

令和6年度 岩見沢市立栗沢小・中学校 学校経営方針

2 評価項目

(そう思う・だいたいそう思う・あまりそう思わない・まったくそう思わない) 文言は対象者(ステージ)により若干変更あり。

	評価内容	対象者	観点
(全般)			
1	毎日、学校に行くのが楽しい。	子・保・教	めざす子ども像
2	学校や地域で進んであいさつをしている。	子・保・教・CS	ルール・マナー(あいさつ)
3	交通ルールを守り、安全に気を付け、登下校している。	子・保・教・CS	ルール・マナー(安全)
4	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う。	子	ルール・マナー(規範意識)
5	毎日、朝ごはんを食べている。	子	基本的な生活習慣
6	家の人と学校での様子を話している。	子・保	家庭生活
7	自分にはよいところがある。	子	自尊感情
8	学校に仲の良い友達がいる。	子	仲間意識
9	学校のきまりや家族との約束を守ろうとしている。	子	規範意識
10	困っている人がいたら助けてあげたいと思う。	子	社会性・人間性
11	学校は、子どもや保護者からの相談に丁寧に対応している。	子・保・教・CS	信頼関係
12	学校は、安全確保に十分に努めている。	子・保・教・CS	安心・安全
13	学校は、学校だよりやブログでわかりやすく説明している。	子・保・教・CS	
(重点目標)			
14	自分が立てた目標に向かって積極的に行動している。	子・保・教・CS	Action
15	より良い生活を送ろうと様々な工夫をしている。	子・保・教・CS	Thinking
16	仲間と協力しながらいろいろなことに取り組んでいる。	子・保・教・CS	Teamwork
(中長期的な基本理念)			
17	栗沢小・中学校で学んで良かったと思う。	子	
(栗沢スタイル)			
18	授業がわかりやすい。	子	小5以上は教科担任制別
19	タブレットを有効に活用している。	子 教	〃
20	授業中、自分の考えを持つ時間がある。	子 教	〃
21	考えたことを発言したり、交流したりする時間が十分にある。	子 教	〃
22	授業の最後に、学習したことを振り返る時間がある。	子 教	〃
23	未来の教室5原則を意識しながら学習に取り組んでいる。	子 教	
(学習全般)			
24	総合的な学習の時間(生活科)の授業が楽しい。	子・保・教・CS	
25	SDGsを意識した生活を送っている。	子・保・教・CS	2 nd & 3 rd
26	昨年よりも家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	子・保・教	
(小中一貫教育)			
27	小中の合同行事は楽しかった。	子・保・教・CS	
28	小中一貫教育について学校はわかりやすく説明している。	子・保・教・CS	

VII 教育課程

《在籍児童生徒数》

年組	男子	女子	計	年組(特支)	男子	女子	計	合計
1年I組	7	8	15				0	15
2年I組	6	5	11	あおぞら		1(知的)	1	12
3年I組	8	9	17	ひまわり		1(情緒)	1	18
4年I組	8	5	13	ひまわり	2(情緒)		2	15
5年I組	10	6	16	ひまわり	1(情緒)		1	17
6年I組	8	9	17	ひまわり	1(情緒)		1	18
小学計	49	45	89		4	2	6	95
7年A組	5	10	15				0	24
8年A組	5	18	23	C組		1(知的)	1	24
9年A組	12	7	19				0	23
中学計	22	35	57			1	1	58
計								153

《週日課表》

	小学校		中学校	
	月火木金	水	月火木金	水
職員出勤	～ 8:05		～ 8:10	
職員打ち合わせ	8:05～8:15		8:10～8:20	
児童生徒登校	～ 8:15		～ 8:20	
朝自習・朝読書	8:15～8:25		～ 8:20	
朝学活	8:25～8:35		8:20～8:30	
学習準備・移動			8:30～8:35	
1校時	8:35～9:20		8:35～9:25	
2校時	9:25～10:10		9:35～10:25	
中休み	10:10～10:30			
3校時	10:35～11:20		10:35～11:25	
4校時	11:25～12:10		11:35～12:25	
給食	12:10～12:45		12:25～12:55	
片付け・移動	12:45～12:55			
清掃	12:55～13:10		12:55～13:10	
昼休み	13:10～13:25		13:10～13:25	
学習準備・移動	13:25～13:30		13:25～13:30	
5校時	13:30～14:15		13:30～14:20	
6校時	14:20～15:05		14:30～15:20	
帰りの会	15:05～15:15	14:15～14:25	15:20～15:30	14:20～14:30
児童生徒下校	15:20	14:30	15:35	14:35
職員休憩時間	15:45～16:30		15:45～16:30	
職員退勤	16:35		16:40	
スクールバス		5時間バス 14:35		5時間バス 14:40
	6時間バス 15:35		6時間バス 15:40	
	部活便 17:55		部活便 18:00	

《週時間割(基本形)》*水曜日は定時退勤日・部活動休止日とする。

令和6年度 岩見沢市立栗沢小・中学校 学校経営方針

小学校

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	*道	○	○
3	○	○	*道	○	○
4	○	○	*道	○	○
5	○	○	○	○	○
6	○	○	会議等	○	児・ク

中学校

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	*道	○	○
3	○	○	*道	○	○
4	○	○	*道	○	○
5	○	○	○	○	○
6	○	○	会議等	○	学活

○～教科、総合的な学習の時間
 *～学年をずらして道徳を実施
 (他学年の授業以外の教職員は道徳を参観)

《各教科等の授業時数》

小学校

黄色は教科担任制

学年・週		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	道徳科	学級活動	総合的な学習の時間	外国語活動	外国語	総授業時数
		年間時数	306	-	136	-	102	68	68	-	102	34	34	-	-	-
	週	9	-	4	-	3	2	2	-	3	1	1	-	-	-	25
2	年間時数	315	-	175	-	105	70	70	-	105	35	35	-	-	-	910
	週	9	-	5	-	3	2	2	-	3	1	1	-	-	-	26
3	年間時数	245	70	175	90	-	60	60	-	105	35	35	70	35	-	980
	週	7	2	5	2.6	-	1.7	1.7	-	3	1	1	2	1	-	28
4	年間時数	245	90	175	105	-	60	60	-	105	35	35	70	35	-	1015
	週	7	2.6	5	3	-	1.7	1.7	-	3	1	1	2	1	-	29
5	年間時数	175	100	175	105	-	50	50	60	90	35	35	70	-	70	1015
	週	5	2.9	5	3	-	1.4	1.4	1.7	2.6	1	1	2	-	2	29
6	年間時数	175	105	175	105	-	50	50	55	90	35	35	70	-	70	1015
	週	5	3	5	3	-	1.4	1.4	1.6	2.6	1	1	2	-	2	29

中学校

学年・週		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	外国語	道徳科	学級活動	総合的な学習の時間	総授業時数
		年間時数	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50
	週	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
8	年間時数	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
	週	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
9	年間時数	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
	週	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

《実授業日数》

小学校(6年生)

学期	前期						後期					
始業式	4月5日(金)						10月1日(火)					
終業式(修了式)	9月30日(月)						3月25日(火)					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日数	17	21	20	19	4	18	22	19	19	13	18	13
計	99日						104日					
	203日											

*入学式 4月5日(金) 卒業証書授与式 3月19日(水)

中学校(9年生)

学期	前期						後期					
始業式	4月5日(金)						10月1日(火)					
終業式(修了式)	9月30日(月)						3月25日(火)					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日数	17	20	20	19	4	18	22	20	19	13	18	8
計	98日						100日					
	198日											

*入学式 4月5日(金) 卒業証書授与式 3月12日(水)

《休業日》

	小学校	中学校
学年始休業日	4月1日(月)～4月4日(木)	
夏季休業日	7月27日(土)～8月26日(月)	
冬季休業日	12月27日(金)～1月14日(火)	
学年末休業日	3月26日(水)～3月31日(月)	

《学校閉庁日》小中共通

夏季休業期間	8月13日(火)・14日(水)・15日(木)	3日間
冬季休業期間	12月29日(日)～1月3日(金)	6日間

《小中学校行事等》

*巻末 年間スケジュール表参照